

中学歴史プリント（過去問類似）

幕末・開国

名前

得点

/8

問1 1853年に浦賀へ来航したペリーが、翌年の1854年に再び来航した際に江戸幕府と結んだ条約によって、日本が新たに開港した港の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 北海道の箱館と、伊豆半島の先端付近に位置する下田
2. 北海道の箱館と、九州北西部に位置する長崎
3. 伊豆半島の先端付近に位置する下田と、九州北西部に位置する長崎
4. 神奈川の横浜と、現在の兵庫県にあたる兵庫

問2 18世紀後半から始まった産業革命によって、世界に先駆けて工業化を成し遂げたイギリスは、圧倒的な工業生産力を背景に世界中に工業製品を輸出しました。当時のイギリスの地位を象徴する呼び名として最も適切なものを選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 世界の工場
2. 太陽の沈まぬ帝国
3. 自由貿易の先駆者
4. 欧州の火薬庫

問3 幕末の開港後、貿易が盛んになったことで日本の国内経済や社会に生じた影響について、当時の状況を説明した文章として最も適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 生糸が大量に輸出されたことで国内向けの在庫が不足し、物価の上昇を招いて人々の生活を圧迫した。
2. 欧米から輸入された安価な綿織物に対抗するため、幕府は即座に全国の農村へ最新の機械を導入した。
3. 輸入品の流入によって国内産業が活性化されたため、武士や農民の不満は解消され、社会は安定に向かった。
4. 輸出額の急増により国内の貨幣価値が上昇したため、それまで続いていた物価高騰が完全に収まった。

問4 大老の井伊直弼が、日米修好通商条約を独断で調印したことによって生じた国内の政治的動静について、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 幕府の権威が回復し、諸藩の統制が強まった。
2. 反対派の志士や大名を処罰する安政の大獄が行われ、幕府への不満が高まった。
3. 阿部正弘を中心に公武合体が進み、政治が安定した。
4. 全国の港で外国船を打ち払う運動が公式に許可された。

問5 1860年代、開国直後の日本における対外貿易の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、当時の統計においてこの国は輸出額の52.4%を占めていました。（2017年 香川公立入試 類似）

1. 横浜港を最大の拠点とし、イギリスを最大の貿易相手国としていた。
2. 横浜港を最大の拠点とし、アメリカを最大の貿易相手国としていた。
3. 長崎港を最大の拠点とし、オランダを最大の貿易相手国としていた。
4. 函館港を最大の拠点とし、ロシアを最大の貿易相手国としていた。

問6 19世紀半ば、開国に伴い日本と欧米諸国との貿易が開始されました。当時の輸出入の状況において、日本から生糸や茶が大量に輸出される一方で、輸入額の多くを占め、日本の農村における内職であった綿産業を衰退させる要因となった品目の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2024年 香川公立入試 類似）

1. 綿糸・綿織物
2. 鉄砲・火薬
3. 小麦・大豆
4. 石油・石炭

問7 江戸幕府が1639年にポルトガル船の来航を禁止し、1641年にオランダ商館を長崎の出島に移転させた背景および目的として、最も適切な説明はどれか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を徹底的に排除するとともに、幕府が海外の情報を管理し、貿易による利益を独占して支配体制を固めるため。
2. イギリスやアメリカからの開国要求を退けるために、ヨーロッパ諸国との貿易をすべて停止して、完全な自給自足体制を築くため。
3. 明との間で行われていた勘合貿易をより効率的に行うため、民間の朱印船による自由な海外渡航をすべて禁止して、長崎に拠点を集約するため。
4. 当時、日本最大の貿易相手国であったポルトガルの影響力を弱め、代わりにロシアとの国交を樹立して北方の安全を確保するため。

問8 1860年代のアメリカで、リンカーン大統領が「人民の、人民による、人民のための政治」という演説を行った当時の、世界の歴史的な状況についての説明として正しいものはどれですか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

1. アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。
2. フランスで市民が絶対王政を打倒し、人権宣言を採択したフランス革命が最高潮に達していた。
3. 清において孫文らが中心となり、皇帝政治を倒してアジア初の共和制を目指す辛亥革命が起きていた。
4. コロンブスがスペイン女王の支援を受けて大西洋を横断し、カリブ海の島々に到達していた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北海道の箱館と、伊豆半島の先端付近に位置する下田	アメリカのペリーと江戸幕府が結んだ日米和親条約により、アメリカ船に薪水や食料を供給することを目的として、下田（静岡県）と箱館（北海道）の2港が開港されました。長崎は江戸時代を通じてオランダや清との貿易が行われていた港であり、この条約で新たに開かれたものではありません。また、横浜や兵庫などは後の1858年に結ばれた日米修好通商条約によって開港が決められた港です。
問2	答え 1 世界の工場	18世紀後半に世界で最も早く産業革命を達成したイギリスは、綿織物などの工業製品を圧倒的な生産力で製造し、世界中に輸出しました。この経済的な優位性を背景に、19世紀半ばにかけてイギリスは「世界の工場」と称されました。なお、「太陽の沈まぬ帝国」は広大な植民地を持つ領土的広がりを目指す言葉であり、産業革命期の経済的役割を端的に示す場合は「世界の工場」が適しています。
問3	答え 1 生糸が大量に輸出されたことで国内向けの在庫が不足し、物価の上昇を招いて人々の生活を圧迫した。	生糸が主要な輸出品として大量に海外へ送られた結果、日本国内で使用する生糸が不足し、関連する製品の価格が急騰しました。また、貿易の開始によって経済が混乱し、さらに幕府が質の低い貨幣を大量に発行したことも重なって激しいインフレーション（物価高）が起こり、庶民の生活は非常に苦しくなりました。
問4	答え 2 反対派の志士や大名を処罰する安政の大獄が行われ、幕府への不満が高まった。	井伊直弼は、条約調印や将軍継嗣問題で対立した吉田松陰らの志士や橋本左内、さらには有力な大名らを厳しく弾圧する「安政の大獄」を行いました。この強硬な姿勢は尊王攘夷派の激しい怒りを買ひ、のちに井伊が暗殺される桜田門外の変へとつながりました。
問5	答え 1 横浜港を最大の拠点とし、イギリスを最大の貿易相手国としていた。	開国後の貿易において、神奈川（横浜）は輸出入ともに最大のシェアを占める港となりました。当時の主要な貿易相手国はイギリスであり、アメリカは南北戦争の影響などから日本との貿易における割合はイギリスに次ぐ順位となっていました。地理的な条件や、輸出品である生糸の集散地に近いことから横浜が急速に発展しました。
問6	答え 1 綿糸・綿織物	開国直後の貿易において、日本は生糸や茶を主な輸出品とする一方で、衣料品の原料となる綿糸や、完成品である綿織物を大量に輸入していました。これらの輸入品は、日本の農村で広く行われていた手紡ぎの綿糸作りや手織りの綿織物業よりも圧倒的に安価であったため、国内の綿産業は存続の危機に立たされました。これがのちに、日本独自の機械による紡績業の発展へとつながる契機にもなりました。
問7	答え 1 キリスト教の布教を徹底的に排除するとともに、幕府が海外の情報を管理し、貿易による利益を独占して支配体制を固めるため。	江戸幕府は、キリスト教の浸透が幕藩体制の脅威になると考え、布教と密接に結びついていたポルトガルを排除しました。一方、貿易のみを目的としていたオランダについては、管理のしやすい長崎の人工島である出島に商館を移すことで、貿易の利益と海外情報の独占を図りました。これが「鎖国」と呼ばれる状態の完成です。朱印船貿易はこれに先立つ時期に行われていたものであり、開国要求が強まるのはさらに後の19世紀のことです。
問8	答え 1 アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。	リンカーンの演説は、1861年から1865年にかけて行われたアメリカ南北戦争の途上で行われました。フランス革命は18世紀末（1789年～）、コロンブスの航海は15世紀末（1492年）、辛亥革命は20世紀初頭（1911年）の出来事であり、これらは時代や場所が異なります。リンカーンの演説が行われた背景には、バラバラになりかけた合衆国を民主主義の精神によって再び一つにまとめようとする強い意図がありました。